

## 令和2年飯田市議会第4回定例会一般質問通告表

令和2年12月8日、9日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	清水 優一郎 (会派のぞみ) 【 20 分 】	<p>1 市立病院の新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(1) 「原則、面会禁止」の対応について</p> <p style="padding-left: 2em;">① 現状と課題は</p> <p style="padding-left: 2em;">② 患者と家族の気持ちに寄り添うには</p> <p>(2) 当面の対応方針は</p>
2	福 沢 清 (会派みらい) 【 30 分 】	<p>1 公契約条例の制定について</p> <p>(1) 公契約条例をどう考えるか</p> <p>(2) 公契約条例について今までの飯田市の対応についてどう考えるか</p> <p>(3) 「公契約に関する基本方針」は目的実現に向けどのように進められてきたか</p> <p>(4) 今後、公契約条例の制定に向け、どのように進めていくか</p> <p style="padding-left: 2em;">① 研究会の設置はどうか</p> <p style="padding-left: 2em;">② 賃金下限額を盛り込むことが必要ではないか</p>
3	岡 田 倫 英 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>1 リニア中央新幹線関連事業について</p> <p>(1) 移転をお願いする方から寄せられている集合住宅を希望する声に対する市の考え方は</p> <p>(2) 代替地のコミュニティ形成をどのように考えるか</p> <p>2 情報発信・広報について</p> <p>(1) 飯田市における弱点とは何か</p> <p>(2) 飯田市公認「ふるさとユークューバー(仮称)」とはどのような考えか</p> <p>(3) 「分かりやすい市政」を実現する上で、広報いいだ等の改善はどうか</p> <p>(4) 市長によるメッセージ力が重要と考えるがどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	古 川 仁 (日本共産党) 【 20 分 】	<p>1 飯田市の新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 地域医療について</p> <p>① 未だに受診控えのため厳しい経営状況と聞すが、現状は</p> <p>② 物資の状況は</p> <p>③ 11月17日以降の地域医療体制は</p> <p>④ コロナ禍における地域医療を支えるための市長の考えは</p>
5	吉 川 秋 利 (会派のぞみ) 【 20 分 】	<p>1 市長のマニフェストの「地域経済」における農業について</p> <p>(1) 「外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、市民農園や家庭菜園を推奨し、『農ある豊かな暮らし』が広がる取り組み」について</p> <p>① 具体的にどのようなことを目指すのか</p> <p>② 「外貨を稼ぐ農業」「市民農園」「家庭菜園」はそれぞれ異なる特色を有するが、どのように展開していくのか</p>
6	村 松 まり子 (公明党) 【 40 分 】	<p>1 ウイズコロナ時代に求められる「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現について</p> <p>(1) ウイズコロナ時代に求められる「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現についての考えは</p> <p>(2) 重層的支援体制整備事業についてどう取り組むのか</p> <p>① 重層的支援体制整備事業の認識は</p> <p>② 庁内の連携体制は</p> <p>③ 庁外との連携体制は</p> <p>(3) コロナ禍で進む高齢者の生活不活発を基盤とするフレイル化・健康への危惧について</p> <p>① コロナ禍で地域在住高齢者に何が起きているのか</p> <p>② ウイズコロナ・アフターコロナ社会を見据えた取り組みは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
6	村松 まり子 (公明党) 【 40 分 】	<p>(4) 子育ての孤立を防ぐための取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① コロナ禍において1年前とは違う子育て環境の現状をどう把握し認識しているか</li> <li>② 子育て世代への情報発信の検討状況は</li> <li>③ オンラインによる相談窓口の設置の考えは</li> <li>④ 子育てに関する父親の役割の重要性に対する市長の考えは</li> <li>⑤ 父親対象の子育て講座の強化等は</li> <li>⑥ コロナ禍において、「孤立を防ぐための居場所」や「地域や友人とのつながり」が重要となっているため、「社会的処方」の考え方やオンラインを活用するなど新しい生活様式に対応した「つながり」(双方向)を構築すべきと考えるがどうか</li> </ul>
7	木下 徳康 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>1 コロナ禍の経済発展・市民活動の基礎について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「コロナ禍を乗り越える」ためのベースとなることは <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国内および県内の状況に対する認識は</li> <li>② 市内の現状は</li> <li>③ 感染拡大を最小限にするために必要なことは</li> </ul> </li> <li>(2) 経済発展・市民活動のための検査の必要性について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 検査の重要性への認識は</li> <li>② 検査のためのルール化は必要ではないか</li> </ul> </li> <li>(3) 感染経路の把握について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 経路把握の重要性をどうとらえているか</li> <li>② 経路把握を向上させる手立ては</li> <li>③ 接触確認アプリCOCOAに対する市の評価は</li> </ul> </li> </ul>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
8	塚 平 一 成 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>1 事業所の新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 年末年始休暇の分散取得要請への対応は</p> <p>(2) 飯田市新しい生活様式定着支援補助金について</p> <p>① これまでの申請の状況は</p> <p>② 第3波が懸念されるが今後の対応は</p> <p>2 国際交流の推進体制について</p> <p>(1) 小さな世界都市の推進について、市長の考え方は</p> <p>(2) 地域力強化の観点から、市民交流の基盤強化へどう取り組むか</p> <p>(3) 国際的な都市力向上へどう取り組むか</p>
9	井 坪 隆 (会派みらい) 【 30 分 】	<p>1 新飯田文化会館の建設について</p> <p>(1) 当地域における飯田文化会館の普遍的な在り方をどう考えるか</p> <p>(2) 公約では、建て替えについて「十分な駐車場の確保」を前提条件としているが、これを新飯田文化会館の建設適地と考えるか</p>
10	熊 谷 泰 人 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>1 市内スポーツ施設の整備について</p> <p>(1) 総合体育施設アリーナについて</p> <p>① 検討状況は</p> <p>② スポーツ振興による青少年の健全育成、交流人口の拡大にはアリーナは必要と考えるが市長の考えは</p> <p>(2) グラウンドの芝生化の検討状況は</p> <p>(3) テニスコートの夜間照明設置の考えは</p> <p>2 中学校部活動の状況について</p> <p>(1) 活動指針の試行を終えたが、部活動の状況は</p> <p>(2) 部活動の延長で行われていた社会体育活動に代わる活動状況は</p>

No.	氏名	項目・要旨
11	木下克志 (会派のぞみ) 【 20 分 】	<p>1 親子3世代が同居するまちづくりについて</p> <p>(1) 親子3世代同居はたくさんのメリットがある</p> <p>① 現状、親子3世代が同居している実数は把握しているか</p> <p>② 今は別に暮らしているが同居可能な世帯を調査したことはあるか</p> <p>③ 3世代同居を推奨する考え方はあるか</p> <p>2 観光行政について</p> <p>(1) 今後の観光誘客をどう考える</p> <p>① 観光が本当に産業になっているか</p> <p>② 遠山郷の魅力づくりは</p>
12	木下容子 (市民パワー) 【 30 分 】	<p>1 「コロナ禍を乗り越える」ための取り組みについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス禍での自殺防止対策について</p> <p>① 全国では自殺の急増が見られるが、どう認識しているか</p> <p>② 本年10月は全国で男性に比べて女性の自殺が増加しているが、どうとらえているか</p> <p>③ 今必要とされる自殺防止対策は</p> <p>(2) 新型コロナウイルスが妊娠活動に及ぼす影響について</p> <p>① 新型コロナの感染拡大により、全国では妊娠届け出件数が減少しているが、飯田市はどうか</p> <p>② 妊娠が減少している原因をどうとらえているか</p> <p>③ 少子化対策は喫緊の課題だと考えるが市長の思いは</p> <p>(3) 「すべての女性が輝く社会」の実現のためには、女性の課題に社会全体が目を向けるべきだと考える。市長マニフェストの「共に支え合えるコミュニティづくり」の考えは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
13	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ) 【 30 分 】	<p>1 「新・環境文化都市」創造プランについて</p> <p>(1) 「新・環境文化都市」創造プランの理解を深めるために</p> <p>① 「日本一住みたいまち」実現への道筋として「新・環境文化都市」創造プランを打ち出した市長の想いは</p> <p>② 「新・環境文化都市」創造プランにおいて、過去に出された「環境文化都市宣言」の位置付けは</p> <p>(2) 環境文化都市実現に向けてのこれまでの取り組みをどう捉えているか</p> <p>(3) 「新・環境文化都市」の実現に向けて</p> <p>① 「2050二酸化炭素排出実質ゼロ自治体(ゼロカーボンシティ)」実現への決意は</p> <p>② 「飯田市の環境への取り組みを市民の誇りに」という考え方についてどう思うか</p> <p>③ 環境に対する市民の意識を高めるには、ターゲットを絞った取り組みを進める必要があると考えるがどうか</p> <p>④ 市の推進体制をどう考えているか</p>